

作成日 : 2013 年 3 月 28 日
改訂日 : 2025 年 10 月 8 日

安全データシート

【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称 : ゼオセライト ステインリキッド
会社名 : YAMAKIN株式会社
住所 : 〒543-0015 大阪府大阪市天王寺区真田山町3番7号
電話番号 : 06-6761-4739
FAX番号 : 06-6761-4743

【2. 危険有害性の要約】

GHS 分類 : GHS 分類基準に該当しない。

ラベル要素

- ・表示 : なし
- ・注意喚起語 : GHS 分類基準に該当しない。
- ・危険有害性情報 :

注意書き

- ・安全対策 : 取扱後はよく手を洗うこと。
- ・応急措置 : 飲み込んだ場合 : 気分が悪い時は医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。
目に入った場合 : 数分間注意深く水で洗い、コンタクトレンズをしている場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・保管 : 直射日光を避け、容器を密閉し換気の良い冷暗所に保管すること。
- ・廃棄 : 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託するか、もしくは地方公共団体の規則に従うこと。

【3. 組成及び成分情報】

組成情報は営業上の秘密に該当するため、含有量を幅記載とする。

単一製品・混合の区別 : 混合物
成分及び含有量 :

化学物質名	化学式	含有率 wt%	CAS No.
ポリエチレングリコールジメチルエーテル	$\text{CH}_3(\text{OCH}_2\text{CH}_2)_n\text{OCH}_3$	50-60	24991-55-7
ポリエチレングリコール	$\text{H}(\text{OCH}_2\text{CH}_2)_n\text{OH}$	40-50	25322-68-3

【4. 応急措置】

- | | |
|-----------|--|
| 目に入った場合 | : 目に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
眼の刺激が続く場合、医師の診断／手当を受けること。 |
| 皮膚に付着した場合 | : 付着部を水または石鹸水で洗い流すこと。 |
| 吸入した場合 | : 新鮮な空気の場所に移し、安静にして呼吸を整える。
症状が現れる場合、または気分が悪いときは、医師の診断を受ける。 |
| 飲み込んだ場合 | : 口を水ですすぐこと。
意識のない者には、何も口から与えてはならない。
医師の指示が無い場合には、無理に吐かせないこと。 |

【5. 火災時の措置】

- | | |
|-------------|---|
| 消火剤 | : 周辺火災に応じて水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素を使用する。 |
| 使ってはならない消火剤 | : 棒状の水 |
| 特有の危険有害性 | : 燃焼ガスには、一酸化炭素等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。 |
| 特有の消火方法 | : 消火活動は風上から行う。
火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。
消化のための放水等により、製品もしくは化学物質が河川や下水に流出しないよう適切な措置を行う。 |
| 消火を行う者の保護 | : 消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用すること。 |

【6. 漏出時の措置】

- | | |
|---------------------|---|
| 人体に対する注意事項 | |
| ・保護具及び緊急時措置 | : 作業者は適切な保護具を着用し、服、皮膚への接触や吸入を避ける。 |
| ・環境に対する注意事項 | : 河川、水路や下水に流れ込ませないように注意すること。 |
| ・封じ込め及び
浄化の方法／機材 | : 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。 |
| ・二次災害の防止策 | : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。
床に濡れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。漏出物の上をむやみに歩かない。 |

【7. 取扱い及び保管上の注意】

- | | |
|------------|--|
| 取扱い | |
| ・技術的対策 | : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 |
| ・局所排気／全体換気 | : 「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。 |
| ・接触回避 | : データなし |
| ・安全取扱注意事項 | : 使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
適切な保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 |

接触、吸入又は飲み込まないこと。

保管

- ・技術的対策 : 適用法令を遵守する。
- ・保管条件 : 直射日光を避け、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。
- ・容器包装材料 : 破損や漏れの無い密閉可能な容器を使用する。

【8. ばく露防止及び保護措置】

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 :

成分	化学式	日本産業衛生学会 (2025 年版) 許容濃度 mg/m ³	ACGIH (2025 年版) 許容濃度 TLV-TWA mg/m ³
ポリエチレングリコール ジメチルエーテル	CH ₃ (OCH ₂ CH ₂) _n OCH ₃	—	—
ポリエチレングリコール	H(OCH ₂ CH ₂) _n OH	—	—

設備対策 : 局所排気装置、手洗い・洗顔設備など。

保護具

- ・呼吸器の保護具 : 適切な呼吸用保護具を着用すること。
- ・手の保護具 : 適切な保護手袋を着用すること。
- ・眼の保護具 : 適切な眼の保護具を着用すること。
- ・皮膚及び身体の保護具 : 適切な保護衣を着用すること。

衛生対策 : 取扱い後はよく手を洗うこと。

【9. 物理的及び化学的性質】

物理的状态、形状、色など

- ・物理状態 : 液体
- ・色 : 無色
- ・臭い : ほとんど無臭
- ・融点/凝固点 : データなし
- ・沸点又は初留点及び沸 : データなし

点範囲

- ・可燃性 : データなし
- ・爆発下限界及び上限界 : データなし
- ・引火点 : データなし
- ・自然発火点 : データなし
- ・分解温度 : データなし
- ・pH : データなし
- ・動粘性率 : データなし
- ・溶解度 : データなし
- ・n-オクタノール/水分配 : データなし

係数

・蒸気圧	: データなし
・密度及び/又は相対密度	: データなし
・相対ガス密度	: データなし
・粒子特性	: データなし

【10. 安定性及び反応性】

安定性・反応性	: 通常の条件では安定である
危険有害反応の可能性	: 通常のプロセスではない
避けるべき条件	: 混触危険物質との接触
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: データなし

【11. 有害性情報】

急性毒性	: 分類できない
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な 損傷性/刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性または 皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原生	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性	
単回ばく露	: 分類できない
反復ばく露	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

【12. 環境影響情報】

生態毒性	: 分類できない
残留性・分解性	: 分類できない
生体蓄積性	: 分類できない
土壤中の移動性	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 分類できない

【13. 廃棄上の注意】

- | | |
|--------|--|
| ・残余廃棄物 | : 廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可（収集運搬業許可、処分業許可）を受けた産業廃棄物処理業者に、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して廃棄物処理を委託する。
本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。 |
|--------|--|

- ・汚染容器及び包装 : 内容物を完全に除去した後に処分する。外部に委託する場合は、都道府県知事の認可を受けた専門の産業廃棄物の収集運搬業者及び処理業者に委託処理する。

【14. 輸送上の注意】

国際規制

- ・海上規制 : 該当しない
- ・航空輸送 : 該当しない
- ・国連分類 : 該当しない

国内規制

- ・陸上輸送 : 該当する法律に従う。
- ・海上輸送 : 船舶安全法の規定に従う
- ・航空輸送 : 航空法の規定に従う。

安全対策

- : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。
転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

【15. 適用法令】

- 労働安全衛生法 : 該当しない
- 化学物質管理促進法 (PRTR 法) : 該当しない
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 大気汚染防止法 : 該当しない
- 船舶安全法 : 該当しない
- 航空法 : 該当しない
- 港則法 : 該当しない
- じん肺法 : 該当しない
- 消防法 : 第4類 第三石油類 危険等級Ⅲ 水溶性

【16. その他の情報】

本製品は歯科用材料です。用途の変更や一般家庭での使用は避けてください。

注意事項は、通常の手扱いを対象としたものであり特別の手扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施してください。取扱説明書は、使用者がいつでも閲覧できるようにし、本製品の使用中止、廃棄するまで大切に保管してください。

また記載内容は、現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をするものではありません。

【参考文献】

- ・(独) 製品評価技術基盤機構 (NITE) ホームページ
- ・職場の安全サイト ホームページ
- ・日本産業衛生学会 許容濃度の勧告(2025 年度)
- ・ACGIH-TLVs and BEIs (2025)

【改訂履歴】

01	2013 年	3 月	28 日	初版
02	2017 年	12 月	19 日	2 版
03	2025 年	10 月	8 日	3 版